

旧校舎跡地記念碑4ヶ所とろうあ校長小岩井是非雄先生銅像

内 田 博 幸



長野県松本ろう学校（寿校舎） 絵：宮下豊輔

第18回 日本聾史学会長野大会（長野県松本市）

平成27年11月29日（日）13：00～15：30

フィールドワーク

「松本聾啞学校跡地訪問」

（旧校舎跡地記念碑4ヶ所とろうあ校長小岩井是非雄先生銅像）

【歴史探訪コース】

あがたの森文化会館 → あがた運動公園（12：45集合、13：00出発）→

寿⑤県松本ろう学校▲小岩井先生銅像（13：30～13：40）→ 美須々④校舎跡

■記念碑（14：10～14：20）→ 旭町③校舎跡地■記念碑（14：30～14：40）

→ 蟻ヶ崎①校舎跡地■記念碑（14：50～15：00）→ 松本駅西口（15：10）

※バス降りる → 白板②校舎跡地■記念碑（15：20～15：30）※探訪後、解散



日本聾史学会長野大会会場
あがたの森文化会館

⑤ 寿校舍
現在「長野県松本ろう学校」
▲小岩井是非雄先生銅像

松本ろう学校・校舎の移り変り



① 蟻ヶ崎校舎（民家） → 現在：古家（廃家？）
『松本女子求道会附属ろう啞教育所跡地／私立松本ろう啞学院跡地』 昭和3年～11年



② 白板校舎（松本盲学校） → 現在：駐車場
『私立松本ろう啞学校跡地』 昭和11年～26年



③ 旭町校舎（蚕試験場） → 現在：長野県視覚障害者福祉センター
『県立松本ろう学校跡地』 昭和26年～28年



④ 美須々校舎 → 現在：美須々高校（体育館とプール）
『長野県松本ろう学校跡地』 昭和28年～54年



⑤ 寿校舎
『長野県松本ろう学校』 昭和54年～現在に至る

↑ 標高706m

長野県松本ろう学校 開校65周年記念（平成5年10月建立）

松本ろう学校の旧校舎跡地記念碑4ヶ所



① 蟻ヶ崎校舎



② 白板校舎



③ 旭町校舎



④ 美須々校舎

ろうあ校長・小岩井是非雄先生の生涯

これまで全国には、4人のろうあ者の校長（院長）がおられた。明治時代の石川県・私立金沢盲啞院長の松村精一郎先生、昭和初期の北海道・私立八雲聾啞学院長の辻本繁先生、長野県・私立松本聾啞学校長の小岩井是非雄先生、山口県宇部市・小林塾長の小林健男先生がろう教育者として功績を残した。

小岩井是非雄（こいわい・ぜひお）先生は、1894（明治27）年長野県松本市生まれ。官立東京聾啞学校（旧国立筑波大学附属聾学校）を卒業後、盛岡高等農林学校（現岩手大学農学部）にて教授用の教材掛図（動物、昆虫等）の制作者として勤務する傍ら、私立岩手盲啞学校（旧岩手県立盛岡聾学校）にて嘱託教員として勤めた。その後「故郷の松本市にろう学校を創りたい！」という夢を持って、再び東京聾啞学校師範部にて学び、教員免許状を取得された。

昭和3年寺田五三子先生経営の「松本女子求道会附属聾啞教育所」に勤務。昭和7年寺田先生の引退後、後継者として「松本聾啞学院」を経て、私財をなげうって昭和11年「私立松本聾啞学校」を創設し、自ら初代校長となられた。私立、市立、県立ろう学校の校長として多年にわたり、ろう教育にご尽力された。その功績によって昭和43年名誉ある「勲五等瑞宝章」に輝いた。

更に、東京聾啞学校同窓会（役員）、日本聾啞協会長野部会（会長）、松本ろう学校同窓会（初代会長・名誉会長）他、ろうあ界でご活躍された。

1981（昭和56）年87歳で逝去された。



長野県松本ろう学校正門に「初代校長小岩井是非雄先生」の銅像が建っている。（平成十二年建立）
胸像の右手は手話「元氣！」「頑張れ！」を表現する握りこぶし、左手は教育家らしく本を持っている姿である。